



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月14日

上場会社名 株式会社N o. 1 上場取引所 東
 コード番号 3562 URL https://www.number-1.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辰巳 崇之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループコーポレート (氏名) 久松 千尋 TEL 03-6735-9979
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	9,988	20.1	446	32.6	475	12.8	226	△1.4
2021年2月期第3四半期	8,313	32.0	337	138.0	421	164.7	229	120.3

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 223百万円 (△5.4%) 2021年2月期第3四半期 236百万円 (124.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	34.52	33.13
2021年2月期第3四半期	37.06	34.21

(注) 当社は、2020年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	6,453	2,437	37.4
2021年2月期	7,090	2,490	34.8

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 2,414百万円 2021年2月期 2,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	15.00	—	15.00	—
2022年2月期	—	10.00	—		
2022年2月期（予想）				16.00	26.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、2020年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。2021年2月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載し、2021年2月期の年間配当額は「—」としています。株式分割後の基準で換算した1株当たり年間配当額は、2021年2月期は22.5円となります。2022年2月期（予想）の1株当たり年間配当額は、前年比で実質3.5円の増配となる予定です。

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	9.8	808	31.3	794	13.8	478	18.5	76.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	6,740,600株	2021年2月期	6,704,560株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	193,410株	2021年2月期	93,386株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	6,548,154株	2021年2月期3Q	6,181,994株

（注）当社は、2020年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ワクチン接種が始まったことにより新型コロナウイルス感染者は縮小傾向を見せ始めたものの、新たな変異株により再度警戒が必要な状況となり、未だ不透明な状況にあります。

一方、半導体供給不足の影響はあるものの自動車業界をはじめとする鉱工業の生産指数は回復しつつあり、巣ごもり需要を捉えたネット配信事業や通販事業は引き続き高い伸びを見せております。しかし、客足が戻りつつあるサービス業界では人手不足による供給制約により、業績回復が足踏みしており、未だ消費の回復は見通しにくい状況にあります。

このような状況の中、当社グループが属する情報セキュリティ機器の商品市場におきましては、企業の業務の効率化やテレワークの拡大などによる情報危機管理に対するニーズは引き続き高く、政府主導によるDXの流れも後押しとなり、セキュリティ機器の供給は順調に推移いたしました。また、OA機器の商品市場におきましては、ペーパーレス化の流れで市場が縮小傾向にある一方、当社は顧客の需要に応え、複合機の販売は順調に進捗しております。

当社グループでは、2020年11月に発表した新中期経営計画において「アレクソン社とのシナジー効果の発揮」「ソリューション営業の深化（ストック収益の拡大）」「ハード×ソフト（情報セキュリティ領域の拡大）」「クラウド型サービスの開発」「M&A・事業提携・新規事業」を成長戦略の基礎と位置づけ、当第3四半期におきましても引き続き事業拡大に取り組んでまいりました。

特に中小企業のコンサルタント事業である「No. 1 ビジネスサポート」は、順調に顧客の獲得を伸ばしてまいりました。顧客サポートを行う「ビジコン」も計画通り順調に増員しており、更に下期から従来の基本サービスに新たなサービスのラインナップを加え、更なるストック収益の拡大に取り組む体制となつてまいりました。また、連結子会社である株式会社No. 1 デジタルソリューションが日本オラクル株式会社と提携して開発したフルマネージド型クラウドサービス「デジテラス」の受注も進んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,988,533千円（前年同期比20.1%増）、経常利益は475,237千円（前年同期比12.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は226,010千円（前年同期比1.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末比747,632千円減少し、4,278,857千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少456,013千円、受取手形及び売掛金の減少577,673千円、電子記録債権の増加163,807千円によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末比110,280千円増加し、2,174,324千円となりました。これは主に、有形固定資産の増加16,344千円、無形固定資産の減少36,980千円、投資その他の資産の増加130,916千円によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末比438,594千円減少し、2,627,702千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少139,494千円、短期借入金の増加200,000円、未払金の減少259,771千円、未払法人税等の減少128,843千円によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末比145,582千円減少し、1,387,951千円となりました。これは主として、長期借入金の減少169,055千円、社債の減少14,000千円、退職給付に係る負債の増加16,097千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末比53,174千円減少し、2,437,528千円となりました。これは主として、資本金の増加12,792千円、資本剰余金の増加12,792千円、利益剰余金の増加61,539千円、自己株式の取得による減少138,085千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は34.8%から37.4%に増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年4月14日の「2021年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による事業への影響につきましては、今後の状況を注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,911,838	1,455,825
受取手形及び売掛金	2,268,124	1,690,450
電子記録債権	-	163,807
商品及び製品	159,606	123,328
仕掛品	30,620	51,374
原材料及び貯蔵品	382,776	376,348
その他	277,675	421,616
貸倒引当金	△4,151	△3,895
流動資産合計	5,026,490	4,278,857
固定資産		
有形固定資産	648,390	664,735
無形固定資産		
のれん	741,957	688,557
その他	70,706	87,125
無形固定資産合計	812,663	775,683
投資その他の資産		
その他	614,940	745,856
貸倒引当金	△11,951	△11,951
投資その他の資産合計	602,989	733,905
固定資産合計	2,064,043	2,174,324
資産合計	7,090,534	6,453,182

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,189,247	1,049,752
短期借入金	200,000	400,000
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	246,800	227,624
未払法人税等	264,109	135,266
未払金	676,469	416,697
賞与引当金	24,102	50,690
役員賞与引当金	20,000	-
製品保証引当金	13,328	13,977
買付契約評価引当金	500	-
資産除去債務	-	6,959
その他	417,739	312,733
流動負債合計	3,066,297	2,627,702
固定負債		
社債	49,000	35,000
長期借入金	1,169,912	1,000,857
アフターサービス引当金	40,875	35,566
退職給付に係る負債	116,079	132,177
資産除去債務	13,675	6,797
その他	143,990	177,553
固定負債合計	1,533,533	1,387,951
負債合計	4,599,831	4,015,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	595,455	608,247
資本剰余金	641,596	654,389
利益剰余金	1,265,925	1,327,464
自己株式	△40,664	△178,749
株主資本合計	2,462,312	2,411,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,458	2,398
退職給付に係る調整累計額	345	321
その他の包括利益累計額合計	2,803	2,719
新株予約権	7,516	7,368
非支配株主持分	18,070	16,088
純資産合計	2,490,703	2,437,528
負債純資産合計	7,090,534	6,453,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	8,313,926	9,988,533
売上原価	5,089,745	6,009,050
売上総利益	3,224,181	3,979,483
販売費及び一般管理費	2,887,175	3,532,577
営業利益	337,005	446,905
営業外収益		
受取利息	428	24
受取配当金	339	198
助成金収入	59,430	40,183
保険解約返戻金	1,031	4,719
貸倒引当金戻入額	27,280	-
その他	5,048	5,468
営業外収益合計	93,557	50,594
営業外費用		
支払利息	6,164	11,607
支払手数料	2,854	5,884
その他	411	4,770
営業外費用合計	9,430	22,263
経常利益	421,133	475,237
特別利益		
投資有価証券売却益	11,903	-
特別利益合計	11,903	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	4,999
特別損失合計	-	4,999
税金等調整前四半期純利益	433,036	470,237
法人税等	190,806	246,208
四半期純利益	242,230	224,028
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	13,110	△1,982
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,119	226,010

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	242,230	224,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,456	△60
退職給付に係る調整額	20	△23
その他の包括利益合計	△5,435	△83
四半期包括利益	236,794	223,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,683	225,926
非支配株主に係る四半期包括利益	13,110	△1,982

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が138百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が178百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算をしております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(企業結合に係る条件付取得対価の会計処理)

条件付取得対価は、2020年7月31日に行われた株式会社アレクソンの取得において、株式譲渡契約に基づき、取得後一定の事象が発生することに伴い支払う契約となっておりましたが、第1四半期連結会計期間において、取得対価の追加支払が確実となったため、支払対価を取得原価として追加的に認識するとともに、のれんを追加的に認識しています。なお、追加的に認識するのれんは、企業結合時点で認識されたものと仮定して計算しています。

- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| 1. 追加的に認識した取得原価 | 23,618千円 |
| 2. 追加的に認識したのれんの金額、のれん償却額、償却方法及び償却期間 | |
| 追加的に認識したのれんの金額 | 23,618千円 |
| のれん償却額 | 3,717千円 |
| 償却期間及び償却方法 | 9年間にわたる均等償却 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。